

立命館大学環太平洋文明研究センター第11回定例研究会

RESEARCH CENTER FOR PAN-PACIFIC CIVILIZATIONS

湖底堆積物の無機分析に基づく 過去数千年間の古環境変遷

—福井県日向湖, 菅湖, 三方湖, 久々子湖, 北潟湖採取資料—

報告者: 篠塚 良嗣

(立命館グローバル・イノベーション研究機構
専門研究員 地球環境)

時間: 2016年7月8日(金) 18:15—19:30

場所: 立命館大学衣笠キャンパス

末川記念会館第3会議室

写真: ボーリングコアを採取する発表者



★お問い合わせ先:
環太平洋文明研究センター事務局
075-466-3335
r-ppc@st.ritsume.ac.jp

三方五湖から環境変遷が見えます！？

福井県北部日本海沿岸に位置する日向湖，菅湖，三方湖，久々子湖（水月湖を加えて三方五湖と言われている）と，福井県北部日本海沿岸に位置する北潟湖において，コアリング調査を行いました。採取した湖底堆積物の無機分析と肉眼観察を併用し，災害史を含む古環境変遷史の復元を目指しています。今回は，現在までに明らかとなった結果について発表します。

About R-PPC

立命館大学環太平洋文明研究センター（R-PPC）は「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」ことを目的としてつくられた人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。

定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。
どうぞふるってご参加ください。